

日本共産党の代表質問の紹介 1



「今年の8月6日、広島を訪問したい」と鶴間市長が答弁

2. 3月議会における共産党の代表質問は村上かずしげ議員が担当しました。一般質問が30分なのに対して代表質問は70分です。今回から何回かに分けて紹介します。今回は平和や市民負担にかかわる問題を質問した部分です。

1、市長の政治姿勢

問 市政方針のなかで「物価高騰から市民の暮らしを守る」という視点を、なぜ持たなかったのか。

答 限られた財源のなかで、子育て支援やはたらきやすい環境づくり、物価高騰の影響にたいする対策など、必要な予算を組んだ。

は泊原発再稼働を前提としている。「脱炭素、脱原発」を基本に見直すべきだ。

答 2050年にCO2ゼロを目指すことを目標に、脱炭素のシナリオをつくった。現実性のある前提を踏まえたもので、泊原発の再稼働も前提とした。

問 戦争を体験し、次世代に語りつがれる方が非常に少なくなってきた。戦証言動画を記録として残すべきでないか。

答 証言の保存の取り組みを始めた。市民から寄せられる冊子、動画など提供される素材に応じて対応したい。

問 再生可能エネルギー基本戦略にかかわって、この戦略



問 大楽毛南のトーチカを保存せよ。

答 権利者が不明で市が保存することは難しい。トーチカについてデジタルデータ化する。



問 今年8月、鶴間市長自身が市民訪問団の団長として、直接被爆地を訪問する考えはないか。

答 私自身も市民訪問団の一員として広島を訪問したい。折り鶴を持っていききたい。

問 ただちに「特定利用港湾」の選定を返上して、災害対応を除いて、自衛隊や米軍の港湾利用は認めるべきではない。

答 一般船舶と同様に扱う。

2、市民負担の軽減

問 この異常な物価高の中、8度からの上下水道料金の値上げは認められないか。

答 審議会に諮問して検討してもらっている。答申を受けて検討する。

問 下水道も含め、国の交付金頼みではなく、様々な手法で基本料金の免除を7年度も実施すべきだ。

答 独立採算で、世代間の受益者負担も公平にしなければならぬ。国の対策に期待したい。

問 基金の活用、一般会計からの支援で国保料の値上げを見送るべき。

答 医療費も上がっていることから値上げは避けられない。

問 子どもの均等割を18歳まで、あるいは義務教育終了まで無償とすべき。

答 国全体で検討していくことで軽減を国に求めたい。

